

年頭に当たって

大西 武三 (学生担当教育室長)



新年あけましておめでとうございます。月並みな挨拶となりますが、本年も皆様先ず健康に留意されて悔いのない大学生活を送って欲しいと願っております。

さて昨今の世の中の様相を見ると、まさに激変の時代を迎えているとひとひし感じます。大学も構造改革が迫られ特色ある大学でなければ生き残っていきません。大学は学生がやりがいを持ち生き生きと活動していることが、特色を創出する原動力であり、もっとも大事なことです。そのためにはそれととりま教職員も生き生きとしていなければならぬはずであり、この三者相俟って特色ある大学になるのではないかと思います。皆さんは大学を構成する一員であります。

筑波大学には学生の意向が反映されるシステムがありますが、是非とも活用いただき充実した学生生活を送るための提案、意見があればぜひと述べていただきたいと思います。

●君たちの意向は大学に反映されているか。

君たちが出席するいろいろな要望は確実に大学運営に反映されていると話を聞いたりあります。学生側と大学側と話し合う場合は、学制的なものから学群・学期にいたるまで組織・個人を問わず設けられています。その一つに、クラス連絡会があります。ここでは、授業のことや生活上のことに関して具体的に学生と先生方が話し合いをします。要望によりカリキュラム等随分改善されていることが報告されています。交通関係でも昨年度は道路の凸凹の改修にはじまって、二学のスロープが改善されたり、野球場横の道路が新しく舗装されたりしています。教職員は殆どが自動車通勤であり、学内での行動も限られているために、学生からの要望が重要な判断材料になります。学生宿舎も改善要望が大変多いです。25年以上も前に建設されたために、老朽化による劣化が著しく、給排水管などライフラインが危ない状態です。大改修には莫大な予算がかかるために、基幹部分の改修を2〜3棟ずつ順次に行っています。皆が共同で使用する浴場については、物品を新しいものと入れ換えたり大掃除をするなど、リフレッシュに努めることになりました。コイン

シャワーも今年度中には修理が完了します。11月には学生担当教育の先生方で学生宿舎を視察しましたが、老朽化とは別に皆がもう少し丁寧に使用したり、周りを清掃するなどきれいに使う心がけを持てば、もっと快適に過ごせるはずです。

現在、大学のリニューアルプランが今年度富江学生生活担当副学長をヘッドとして立ち上がり、昨年は第二学群の食堂を学生参加によるワークショップにより改修しました。今後とも学生生活が充実するよう皆さんの積極的な意見を待っています。

●学生の要望で実現したWebページ

昨年から大学の公式Webページに学生組織のWebページがリンクされました。金代会、三系(文学生、体育会、芸術連)のページが学術情報処理センターのサーバーにアップロードされておりますが、これも大学と課外活動団体の話し合いである課外活動連絡会で3〜4年前から要望が出されて実現したものです。金代会・三系の活動に加え、学園祭やスポーツ・デーの広報もあります。学生の手によるWebページですがなかなかよいものに育っています。今後、各課外活動団体などの個別団体のものも公的に位置づけられリンクする予定です。Webページは今年大学の顔というべき重要なものとなってきました。筑波大学のWebページを通して如何に多くの人たちが筑波大学のことを知ることでしょう。日本はおか世界の中の人たちが筑波大学のWebページを見ているのです。筑波大学の学生の生き生きとした活動を公開し、筑波大学の存在を示したいものです。

●最後に

筑波大学に入学した皆さんが事件や事故に巻き込まれることなく、充実した学生生活を送っていただくことが願いですが、残念ながらそのような不幸に遭遇したり、巻き込まれたりする人たちがいます。世の中は善意に満ちたばかりではありません。ダークサイドから虎視眈々と君たちを狙っている人たちがいます。自分の行動には責任をもって十分に注意して生活することを願っております。

国立大学等施設整備に関する講演会が開催される



講演を行う大島計画課長

国立大学等施設整備に関する講演会が、文部科学省大臣官房文教施設部大島計画課長を講師に迎え、2月15日(金)大学会館特別会議室で開催されました。講演会に先立ち、主催者を代表して富江施設委員会委員長の挨拶のあと、「国立大学等施設整備緊急整備5か年計画の推進について」と題して講演があり、小口事務局長をはじめ本学教職員約100名が聴講しました。講演会に引き続き、質疑応答の時間が設けられ、施設整備を推進するに当たっての諸課題等について、出席者から数々の質問も出され、予定した時間を超過するなど、学内の施設整備に対する関心の高さを示した講演会となりました。

筑波大学新聞 H12, 12, 18

二学食堂改装へ ワークショップに40人参加



本学後援会が中心となり、学生生活向上委員会(学食部)が中心となり、二学食堂の改装に関するワークショップが、2月15日(金)大学会館特別会議室で開催されました。参加者は、学生、教職員、後援会関係者など合わせて40人程度です。ワークショップでは、二学食堂の改装に関する意見交換が行われ、改装の方向性や具体的な改装内容について話し合われました。また、改装後の食堂のイメージを共有するため、改装後の食堂のイメージボードを作成しました。ワークショップの成果は、改装計画に反映されます。

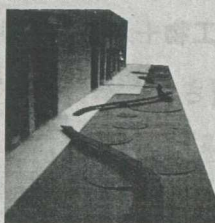


筑波大学新聞 H13, 2, 13

新聞 第211号

二食、変わります!

学生・教職員が案作り テラス、ベンチの設置も



第2回ワークショップで芸術の学生グループが出した案の一部

二学食堂の改装に関するワークショップが、2月15日(金)大学会館特別会議室で開催されました。参加者は、学生、教職員、後援会関係者など合わせて40人程度です。ワークショップでは、二学食堂の改装に関する意見交換が行われ、改装の方向性や具体的な改装内容について話し合われました。また、改装後の食堂のイメージを共有するため、改装後の食堂のイメージボードを作成しました。ワークショップの成果は、改装計画に反映されます。



二学食堂の改装に関するワークショップが、2月15日(金)大学会館特別会議室で開催されました。参加者は、学生、教職員、後援会関係者など合わせて40人程度です。ワークショップでは、二学食堂の改装に関する意見交換が行われ、改装の方向性や具体的な改装内容について話し合われました。また、改装後の食堂のイメージを共有するため、改装後の食堂のイメージボードを作成しました。ワークショップの成果は、改装計画に反映されます。

10年相変じりリニューアル

前5年で大学院施設整備

筑波大学は「キャンパスリニューアル計画」の作成を進め、施設の老朽化が進んでいるほか、大学院の推進に伴う機能化、新たなニーズに対応するためのキャンパスの整備を推進する。計画的な施設整備を進める。おおよそ10年間の期間で、前半5年間で研究施設の建設と大学院施設の整備を進め、後半5年間で学生生活の向上と施設の改修を進める。また、2010年までに「生命科学動物実験センター」の整備と「PFI導入を検討する」など、4つの重点分野に力を入れる。また、2010年までに「生命科学動物実験センター」の整備と「PFI導入を検討する」など、4つの重点分野に力を入れる。また、2010年までに「生命科学動物実験センター」の整備と「PFI導入を検討する」など、4つの重点分野に力を入れる。

老朽化・高機能化に対応

